



## 被服検定3級 ハーフパンツ作ります☆



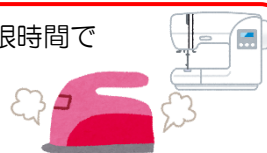
今回は、生活科学科2年生が被服製作技術検定（被服検定）3級の実技試験にチャレンジした様子をお伝えします。

この検定は1年生のときに受検した被服検定4級に合格しないと受検ができない検定です。また、3つの専門のコース（調理・生活福祉・保育）に関係なく、全員が受検する検定となっています。



被服検定4級に比べると、難易度は上がりますが頑張りましょう^^

被服検定3級は、筆記試験と実技試験に分かれています。実技試験では、70分の制限時間でハーフパンツを製作します。作業工程が多く、ほとんどの工程をミシンで行うため、作業の時間配分とミシンを正確に、かつ、素早く扱えるかが重要です。



はじめに担当の先生からの注意事項を聞いて、事前準備をして、一斉にスタートします。

被服検定3級では、使用する生地が大きく、作業工程が多いため、作業台を1人1台使用します。

生地の裏表やハーフパンツのパーツ（前後）に気をつけて作業を進めていきます。



ハーフパンツの製作工程には、裁断したパーツを縫い合わせて筒状にする工程や、それらを重ねてハーフパンツの形に縫い合わせる工程などがあります。それぞれの工程を行うとき、パーツの縫い間違いや重ね間違いがないように気をつけないといけません。完成形を想像しながら作業を行うことが大事ですね^^

2年生の皆さん、被服検定3級はどうでしたか？4級よりも複雑で工程も多く、大変でしたが、本番前の練習や放課後の補習など、頑張っていましたね！検定お疲れ様でした^^  
もっと被服製作を頑張りたい！と思った方は2級にチャレンジしてみませんか？

